



ゼミナール

中国文文化 文学編

カラー版

李春雨〔著〕

加瀬 琴菜〔訳〕



文海出版社

ゼミナール

中国文化

文学編

李春雨〔著〕

加瀬琴菜〔訳〕



辽海传播出版社

图书在版编目(CIP)数据

文学：日文 / 李春雨著；(日)加濑琴菜译著．

——北京：五洲传播出版社，2016.10

(中国文化系列 / 王岳川主编)

ISBN 978-7-5085-3556-2

I．①文… II．①李… ②加… III．①文学史—中国—日文 IV．①I209

中国版本图书馆CIP数据核字(2016)第240700号

主 编：王岳川

出版人：荆孝敏

统 筹：付 平

中国文化·文学

著 者：李春雨

翻 译：(日)加濑琴菜

责任编辑：苏 谦

图片提供：CFP FOTOE 东方IC

出版发行：五洲传播出版社

地 址：北京市海淀区北三环中路31号生产力大楼B座6层

邮 编：100088

发行电话：010-82005927 82007837

网 址：<http://www.cicc.org.cn> <http://www.thatsbooks.com>

印 刷：北京浙京印刷有限公司

版 次：2017年1月第1版第1次印刷

开 本：787×1092mm 1/16

印 张：12

字 数：200千字

定 价：108.00元

目次

序 世界に広がる中国文学	5
--------------------	---

上編 中国古代文学

Part 1 中国古代文学の発展概観	7
--------------------------	---



「中国歴代詩家図巻」

中国古代文学の歴史的過程	7
--------------------	---

中国古代文学の主な特徴	11
-------------------	----

Part 2 文章の模範	15
--------------------	----



司馬遷

先秦時代の諸子百家による散文	15
----------------------	----

司馬遷と『史記』	21
----------------	----

唐宋八大家	24
-------------	----

Part 3 詩の輝き	30
-------------------	----



『楚詞』（明代刊行本）

『詩経』 第一部詩歌集	31
-------------------	----

屈原 ロマンチックで抒情的な詩	34
-----------------------	----

陶淵明 田園隠士の詩	37
------------------	----



「太白醉酒図」

詩仙李白	41
詩聖杜甫	46
白居易と「新樂府」	51

Part 4 詞の艶やかさの争い 56



東坡小像

蘇軾 詞の新境地を切り開く	56
李清照と婉約詞	61
辛棄疾と豪放詞	65

Part 5 晩成の演劇 70



関漢卿像

元曲大家関漢卿	70
歌いつくせない『西廂記』	74
湯顯祖の戯曲と伝奇	77

Part 6 小説の高潮期 82



玉皇精と戦う孫悟空

歴史小説『三国演義』	82
英雄伝説『水滸伝』	86
ファンタジー小説『西遊記』	90
怪談小説『聊斎志異』	94
最高傑作『紅樓夢』	97

下編 中国現代文学

Part 7 中国現代文学の発展概観104



『新青年』

中国現代文学の歴史過程104

中国現代文学の主要な特徴107

Part 8 現代小説 時代の響き110



魯迅

魯迅 新文学の基礎を打ち立てた110

巴金と彼の「激流三部曲」115

老舎と彼の北京平民社会118

沈从文の湘西世界122

張愛玲の人生伝奇127

Part 9 現代詩歌 自らの声を探し出す131



左から王独清、郭沫若、
郁達夫、成仿吾

郭沫若 破壊と創造131

徐志摩 新月の詩情135

艾青 土地に根付いた詩人139

穆旦 豊かさと豊かさの苦しみ142

Part 10 現代活劇 移植と発展146



曹 禺

曹 禺 劇の為に生きる147

田 漢 劇の如き人生151

Part 11 新時期 ・ 新しい詩の波39



北島、舒婷、顧城など

「朦朧詩」の台頭155

北 島 理性的詩人159

顧 城 童話詩人163

海 子 麦田の守望者166

Part 12 新時期 ・ 多元的小説170



ノーベル文学賞
を受賞した莫言

賈平凹とルーツを探究した小説170

余華と先鋒小説173

蘇童と新歴史主義小説177

莫言とマジックリアリズム主義小説180

結語 新世紀文学の新態勢185

付録：中国歴史年代早見表189

目 次

序 世界に広がる中国文学	5
--------------------	---

上編 中国古代文学

Part 1 中国古代文学の発展概観	7
--------------------------	---



「中国歴代詩家図巻」

中国古代文学の歴史的過程	7
--------------------	---

中国古代文学の主な特徴	11
-------------------	----

Part 2 文章の模範	15
--------------------	----



司馬遷

先秦時代の諸子百家による散文	15
----------------------	----

司馬遷と『史記』	21
----------------	----

唐宋八大家	24
-------------	----

Part 3 詩の輝き	30
-------------------	----



『楚詞』（明代刊行本）

『詩経』 第一部詩歌集	31
-------------------	----

屈原 ロマンチックで抒情的な詩	34
-----------------------	----

陶淵明 田園隠士の詩	37
------------------	----



「太白醉酒図」

詩仙李白	41
詩聖杜甫	46
白居易と「新樂府」	51

Part 4 詞の艶やかさの争い56



東坡小像

蘇軾 詞の新境地を切り開く	56
李清照と婉約詞	61
辛棄疾と豪放詞	65

Part 5 晩成の演劇70



関漢卿像

元曲大家関漢卿	70
歌いつくせない『西廂記』	74
湯顯祖の戯曲と伝奇	77

Part 6 小説の高潮期82



玉皇精と戦う孫悟空

歴史小説『三国演義』	82
英雄伝説『水滸伝』	86
ファンタジー小説『西遊記』	90
怪談小説『聊斎志異』	94
最高傑作『紅樓夢』	97

下編 **中国現代文学**

Part 7 **中国現代文学の発展概観**104



『新青年』

中国現代文学の歴史過程104

中国現代文学の主要な特徴107

Part 8 **現代小説** 時代の響き110



魯迅

魯迅 新文学の基礎を打ち立てた110

巴金と彼の「激流三部曲」115

老舎と彼の北京平民社会118

沈从文の湘西世界122

張愛玲の人生伝奇127

Part 9 **現代詩歌** 自らの声を探し出す131



左から王独清、郭沫若、
郁達夫、成仿吾

郭沫若 破壊と創造131

徐志摩 新月の詩情135

艾青 土地に根付いた詩人139

穆旦 豊かさと豊かさの苦しみ142

Part 10 現代活劇 移植と発展146



曹 禺

曹禺 劇の為に生きる147

田漢 劇の如き人生151

Part 11 新時期 ・ 新しい詩の波39



北島、舒婷、顧城など

「朦朧詩」の台頭155

北島 理性的詩人159

顧城 童話詩人163

海子 麦田の守望者166

Part 12 新時期 ・ 多元的小説170



ノーベル文学賞
を受賞した莫言

賈平凹とルーツを探索した小説170

余華と先鋒小説173

蘇童と新歴史主義小説177

莫言とマジックリアリズム主義小説180

結語 新世紀文学の新態勢185

付録：中国歴史年代早見表189

序

世界に広がる中国文学

莫言がノーベル文学賞を受賞したことの文学史的意味

2012年10月11日に、スウェーデン文学院は2012年度ノーベル文学賞を中国人作家の莫言に授与した。これは中国文学の発展において大きな出来事である。莫言はノーベル文学賞を受賞した一人目の中国国籍の作家である。彼は中国文学のノーベル文学賞「ゼロ」という記録を打ち破った。これは中国文学が、すでに世界に広がりつつあるということを示すことになった。そして、世界から中国文学が認識されるようになったのである。このことは、ただノーベル文学賞を受賞したということではなく、中国文壇の一つの念願であり、中国人のノーベル賞への思いを促進することになった。

また同時に、中国文学も自らの発展への思いを新たにした。ノーベル賞審査委員会は、莫言の小説を「素晴らしいマジックリアリズムと民間の物語で、歴史と現代が見事に結合している。」と評価している。その歴史に対する思考と、人間性の分析は中国人に大きな衝撃を与えただけでなく、あらゆる国の読者にも大きな衝撃を与えた。こ



2012年ノーベル賞授賞式で、中国人作家の莫言は、スウェーデン国王の手からノーベル文学賞を受け取った。

れはつまり、時空を越え、文学は現実の人生を打ち破ることができる事を示した。そして、政治の宣伝ではなく、また、本の売り上げを第一にした文学でもなく、消費文学ではない、筆者の魂を込めた文学である。

莫言の外に、現代中国には独特で個性的な実力と潜在力を持った作家がいる。賈平凹、陳忠實、王安憶、餘華、蘇童、劉震雲、畢飛宇、遲子建などがあげられる。彼らは異なる人生観と角度から自分自身の精神を見つめている。彼らの作品は海外の読者からも人気が高い。

長い歴史から見て、中国文学は少なくとも 3000 年ほど前まで遡ることができる。その時代から 20 世紀初頭まで、中国古代文学は脈々と受け継がれ、数千年続き、各時代の中国人の心に沁みわたっていった。中華民族の文化と全く同じである。20 世紀初頭、中国文学は一つの変遷期を迎える。文学概念を初め、内容、言語、世界文学との関係にいたるまでの全てである。中国文学はこの時を境に、新しい段階へと進むのである。

21 世紀以降、中国の総合国家力が強くなるにつれて、国際的地位も徐々に高くなってきている。そして、より多くの人々が中国に関心を持つようになってきた。中国が改革開放に進んだことで、中国と世界との交流も促進されてきた。これは中国文学が世界に向けて進むのに良好な基礎を築くことになった。中国文学が絶えずに進み続け、世界の殿堂に入り、世界文化と融合することは、中国文化にとっても重要である。文学は中国の深く濃厚な歴史を伝承し、複雑で絶えず移り変わる現実社会を反映している。また、中国人の美しい未来への夢を託しているとも言える。文学とは、中国と世界が交流する際の最適なツールである。全世界の共同の関心と、人類一人一人の人間性を表現することが、中国文学の負うべき責任であると言えるだろう。

古くから今に至るまで、中国文学はこのような伝統を受け継いでいるのである。

中国古代文学の発展概観

文学は古代中国の中で、重要で独特な地位にあった。魏の文帝、曹丕（220～226）は、蓋文章，経國之大業，不朽之盛事、と述べている。文学とは国を治め、何世代にも受け継がれる重要なものであるという考えである。古代中国で非常に重要な科举制度も、文学、特に詩文の優劣が文官を選ぶ際の基準になっていた。中国の伝統文学の歴史は古く、発展していく中で、独特な文学概念と芸術手法を作りあげてきた。これは後世の文学に深く影響を与えている。中国古代詩文、小説、演劇などの文体は、異なる歴史の段階で徐々に成熟し、完成されてきた。そして、世界文学の宝庫にあらゆる不朽の経典を追加することになった。

中国古代文学の歴史的過程

中国文学の歴史は悠久である。一般的に人々は 1917 年に始まった「文学革命」を境に、1917 年以前の中国伝統文学を中国古代文学と呼んでいる。数千年の発展の中で、中国古代文学は大きく三つの時代に分けることができる。上古代時代（3 世紀以前）、中古代時代（3 世紀～16 世紀）、近古代時代（16 世紀～20 世紀初頭）である。

上古代文学

上古代時代の第一段階は、先秦文学である。歴史にそって見てみると、商（紀元前 1600 年～紀元前 1046 年）の時代を含め、西周（紀元前 1046 年～紀元前 771 年）、春秋（紀元前 770 年～紀元前 476 年）、戦国（紀元前 475 年～紀元前 221 年）までである。

先秦文学の突出した特徴としては、文学が文化の大きな母体の中に含まれ、文学と歴史、哲学が一括りにされていた。つまり、先秦文学は散文の最高峰となっただけでなく、『尚書』『左伝』『国語』『戦国策』などの歴史的著作品を含み、儒家、道家、墨家、などの諸子百家の哲学書も含まれている。主に『周易』『老子』『論語』『孟子』『莊子』などがあげられる。先秦文学のもう一つの大きな特徴は、詩歌である。この時代に後世にも輝く『詩経』と『楚辞』が生まれた。『詩経』は中国の第一部の詩歌集である。周初期から春秋中甸までの 500 年以上の作品が収録されている。もう一つの詩歌集である『楚辞』には、楚（現在の湖北、湖南一帯）の文学様式、方言、現地の山水や人物、歴史風景が用いられており、表現方法は情熱的でロマンティックである。『楚辞』の代表的作家である屈原は、中国文学史史上一人目の偉大な詩人である。

上古代時代の第二段階は秦漢文学である。歴史にそって見てみると、秦（紀元前 221 年～紀元前 206 年）、西漢（紀元前 206 年～西暦 25 年）、東漢（25 年～220 年）までが含まれる。統一された政治と文化の下、秦漢文学は先秦文学の生き生きとした躍動感は失われてしまった。一種の格式化が見てとれ、風格も停滞してしまった。この時期の文学様式が最もよく表れているのは、漢賦である。漢賦の内容は宮廷や、街、皇帝の狩りの話などに及び、文体は美しい。秦漢散文の代表は、司馬遷の『史記』と言えるだろう。『史記』は叙事技術と人物描写技術の上で、突出している。しかし、詩や歌の上では、一種の新たな勢力として、民間の

間で流行した漢代の楽府民歌があげられる。中下級文人によって作られた『古詩十九首』は、別れや失意、人生の憂いなどを表現しており、言葉は素朴で、感情が真摯的に伝わってくる。読者の共感を千年以上受け続けている。

中古文学

中古文学を歴史にそって見ると、魏（220～265）と晋（265～420）から始まり、南北朝（420～589）、隋（581～618）、唐（618～907）、五代（907～960）、宋（960～1279）、元（1271～1368）を通り、明朝（1368～1644）までと言える。

中古期の第一段階は、魏晋から唐の中期までである。中国文学はここから自覚段階に入り、特に詩歌については最高の段階に達した。数百年もの間、数多くの詩人を輩出し、『三曹』、『建安七子』、『正始詩人』から始まり、陶淵明、謝靈運、庾信、「初唐四杰」、陳子昂、王維、孟浩然、高适、岑参、李白、杜甫など、詩人の独特な人格と独特な風格は入り乱れて輝いている。悲壯感が満ちている『建安風骨』、人生の憂いと理性的思考が浸透している『正始之音』、勇ましい『盛唐气象』、これらはどれも後世に深い影響を与えた詩歌の形式である。

中古期の第二段階は唐の中期から始まり、南宋の滅亡までである。この時期、文風と文体、文学言語の変革を推し進めた『古文運動』が一番重大な出来事と言えるだろう。唐代の韓愈が提唱したこの改革運動は、宋代の欧陽修などに受け継がれ、中国の散文の発展に大きな影響を与えた。詩歌は唐代の絶頂期を迎えた後、唐後期の詩人、白居易、李賀、李商隱、杜牧などの開拓を経て、様々な方向に新しい発展を進めていった。更に人々の注目を集めたのは、詩の基礎を形成した文学様式の詞である。

蘇軾、辛弃疾を代表とする豪快な詞人、劉永、李清照を代表とする含みのある詞人、これらの詞人は新しい文学様式を作りだした宋代文学の代表と言えるだろう。特に注目すべきなのは、唐中期以降の怪奇物語の盛り上がりである。中国小説が成熟期の段階に入るにあたり、宋代の経済の発展と市民の文化の発展がおとぎ話をもとにした小説を作り出した。文語文をもとにした中国古代文学の伝統を徹底的に変え、言語や順序形式において、後世の小説の発展の重要な基礎を築いた。

中古期の第三段階は、元代から始まり、明代の中期まで続く。この時期から、小説、戯曲を代表とする叙事文学が、詩や文などの文学の地位に取って代わるようになる。元曲は中国演劇史の一つの座標としてだけではなく、唐詩、宋詞の確立、また、中国古代文学史上の一つの經典である。『三国志演義』『水滸伝』この長編小説の出現は、この時期の一つの大きなシンボルと言える。これらの小説は新しい文学時代の到来を示唆している。

近古文学

明の中期以降、1917年の「文学革命」の始まりから、約400年間の文学は近古文学に含まれる。

明中期から1840年のアヘン戦争勃発までが近古文学の第一段階と言える。この時期、文学において最も輝いていたのは、伝統的な詩、文、戯曲、小説を代表とする通俗文学である。特に小説は文体様式や思想的方面で成熟に向かっており、『西遊記』や『紅樓夢』、『聊斎志異』『儒林外史』などの經典作品などの出現が、中国古代小説の絶頂を表している。アヘン戦争後、中国は封建社会から半封建半植民地社会へと変化した。社会の変化と共に文学概念と文学創作にも変化が訪れた。文学は社会を改善